



1. 8区① J15号住居跡完掘



2. 7区④ J182号集石検出状況



3. 8区① J233号土坑完掘



4. 8区① J68号焼土完掘\_東から

### ● 主な調査成果

縄文時代早期後半の調査では、浅い掘り込みをもつ竪穴住居状遺構が発見されました。明確な柱穴等は発見できませんでしたが、中央にわずかな焼土跡が認められ、覆土中からは、黒曜石を中心とした剥片・碎片などが多数出土しました。おそらく、石鏃などの石器製作を行った跡と思われます。

その他縄文時代では、焼けた礫が集中した集石や落とし穴などが発見されました。集石は調理施設と考えられています。縄文時代早期の落とし穴の多くは、地すべりの影響で開口部と底部がずれていました。また、半地下式に掘られた炉穴と呼ばれる焼土跡も検出されました。炉穴は、竪穴住居状遺構の北側に隣接して発見されました。

- 調査期間 2020年4月1日～2020年8月31日
- 事業者 中日本高速道路株式会社
- 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 縄文
- 所在地 秦野市横野
- 遺跡位置 小田急小田原線渋沢駅の北約3.5kmの唐沢川と矢坪沢に挟まれた扇状地

